

2010年12月20日
イオン1%クラブ
イオン株式会社

カンボジア・ラオスの子どもたちに、きれいな水を・・・ 「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」寄付金贈呈について

イオン1%クラブは本日、「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」における

- 1) 第1回募金の募金金額
- 2) 募金金額と同額のイオン1%クラブからの拠出金
- 3) イオンのプライベートブランド「トップバリュ」のミネラルウォーター1本につき5円相当のイオン1%クラブからの拠出金

を、財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈いたしますので、ご案内申し上げます。

「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」は、店頭募金や「水」の購入を通じた寄付、店頭でのイベントを通じて、お客さまに海外における水環境の現状を知っていただくとともに、お客さまと水の大切さを考え、行動に移すため財団法人日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと本年よりスタートしました。

イオン1%クラブでは、同キャンペーンの一環として、10月19日から11月23日まで全国のイオングループ61社・約6,800カ所の店舗・事業所で第1回募金を実施したほか、10月24日にはイオンレイクタウンで同キャンペーン大使である川嶋あいさんとともに水の大切さを伝えるイベントを実施しました。

本日の贈呈式においては、お客さまや従業員を対象に実施した募金によりお預かりした金額、その募金金額と同額さらにはイオンのプライベートブランド「トップバリュ」のミネラルウォーター(500ml)1本販売につき5円を上乗せした金額をイオン1%クラブから拠出し、(財)日本ユニセフ協会に贈呈いたします。また、贈呈金額と同額を(財)日本ユニセフ協会からも拠出し、カンボジアとラオスにおける貯水給水施設設置事業を行うことで両国に暮らす子どもの教育・健康環境面をサポートしてまいります。

イオン1%クラブは、今後も「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」の3つを柱にお客さまとともに、さまざまな取り組みをすすめてまいります。

記

【「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」寄付贈呈について】

1. 日時 : 2010年12月20日(月) 15時00分～16時00分
2. 場所 : 財団法人日本ユニセフ協会
(東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス)
3. スケジュール : 14:30～ 報道受付開始
15:00～15:30 挨拶・目録贈呈・プレゼント贈呈
15:30～15:50 質疑応答・スライド試写
4. 出席者 : カンボジア王国大使館 参事官 イム プットピロ 様
ラオス人民民主共和国大使館 書記官 カムラ クッダウオン 様
(財)日本ユニセフ協会 大使 アグネス・チャン 様
イオン1%クラブ キャンペーン大使 川嶋 あい 様
(財)日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研 様
イオン1%クラブ 委員長 原田 昭彦
5. 寄付総額 : 40,159,482円
- 募金金額 18,538,017円
- イオン1%クラブからの募金相当額分拠出金額 19,500,000円
- トップバリュミネラルウォーター販売本数分拠出金額 2,121,465円
(424,293本販売)
以上

<ご参考>

イオン1%クラブについて

ジャスコ誕生20周年を迎えた1989年、「ジャスコ」から「イオン」へのグループ名称変更を機に、継続的に環境保全と社会貢献活動を行うために設立しました。現在、グループの優良企業24社で構成され、各社が税引き前利益の1%を拠出して、「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」の3つを柱として、国内外でさまざまな環境社会貢献活動を実施しています。

同活動の一環として、2001年より、(財)日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと、「学校建設支援事業」をスタートし、2009年度までの9年間で、カンボジアをはじめ合計3カ国に326校の学校建設支援を行いました。しかし、カンボジア・ラオスでは、安全な水の供給施設が不足しており、水汲みなどの家事労働のため、高学年の子どもほど授業に出席できる比率が低くなっています。イオン1%クラブと(財)日本ユニセフ協会は、きれいな水が飲めるインフラの整備も目指しており、過去に学校建設を支援した両国において、より多くの子どもたちが健康で、かつ授業に出席できるよう今回のキャンペーンを実施することとしました。